ハウス長休 かわら版 第4号 1975 2.14
毎集稿度刊 編集人 末吉平克

急告

◇ B.S.京都連盟 60周年記念事業協力個人分担金納入について

B.S.京都連盟が、今年で創立60周年を迎え、下記の通り記念行事を行なうことになりました。

〈テーマ〉「向上躍進」

1. 記念展示会	5/22～27	京都高島屋 6Fの7F
2. 記念式典（ワッペン配布）	6/1	京都会館第1ホール
3. シニアスカウト富士野営	8/8～11	山中野営場
4. 京都キャンポリー地区大会	8月中	各地区にて
5. 記念カブラリー	10/5	府大グランド
6. 記念誌出版	今年度中に.	
7. 記念植樹		市科学センター

上記に要する費用、約9百万円の内、スカウト、リーダー、団委員（登録人員）各1名につき 1,000円（5,500名分で550万円）を分担して頂く事に決定されましたので（2/9臨時総会）各隊育成会費とは別口の出費をお願いする事になりました。　尚、上分担金は、記念ワッペン（300円）記念誌（700円）とで、実質還元されますので、その点御留意、御了解下されば幸いかと思います。

納入日が、3月2日と指定されていますので、至急に御手配、御協力賜わります様 お願い致します。

4団 育成会長　原田嘉和
38団 育成会長　今村 脩

4団、38団、各隊育成会員殿.

Discover yourself in the "High Country."

その2

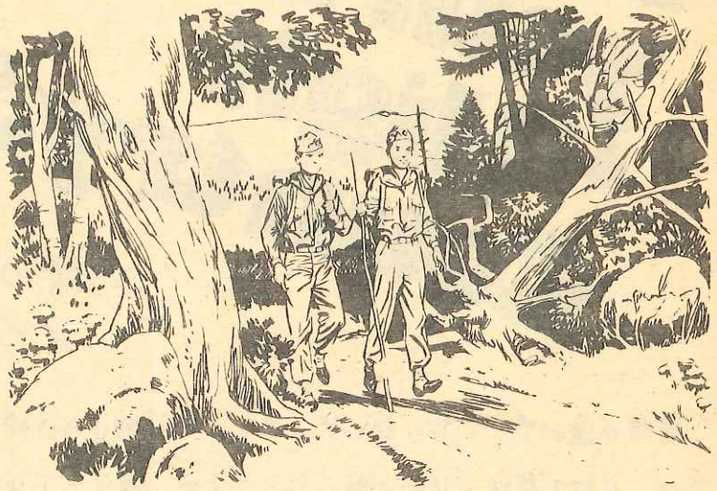
by 中村三之助

国際キャンプ スタッフ派遣報告

○寄稿が遅れまして申し訳ございません。前回からの続きですが、お忘れになられた方は、ハウス長休「かわら版」第3号より、続いてお読み下さい。

◇1ヶ隊に4班あった隊は、キャンプ参加前に班編成をやり直し、3班又は、2班という形で参加し、また、それでも人数の少ない隊は、本部の近くの隊と合併し、そこで臨時班編成を行ない参加している。ある隊では、3隊、4隊の合併隊20名のスカウトで参加した隊もあり、隊長3,4人が1ヶ隊内にいにりするのである。パトロール・システム（班制教育）という本の中に「いかなる場合でも、私は班制教育を強くすすめたい。パトロール（班）とは、恒久的な少人数のグループであって、どのパトロール（班）も、1人の責任をもった指導員によって保持されるものである。これが成功への大きな第1歩になる」と書かれている。以上の言葉は、1908年に刊行された「スカウティング・フォア・ボーイズ」の初版の「序文」に著者ベーデン・ポウエルの冒頭の教示として掲げられた言葉であった。　また、大きな隊には、7班もあるのもみかけました。これらは、キャンプに関してであったが、次に 隊集会、班集会に関して述べておますと、これは日本でのものと少し感覚が異なるのであります。というのも、日本においては 通常ほとんどの隊・班集会は 土・日曜日を利用して行なっている事でしょう。しかし、アメリカにおいては、土・日曜日はほとんど催さず、平日に行

→なうのです。集会日について様々な隊に聞いてみたが、月曜の所もあれば、火曜・水曜・木曜と色々であるが、私の聞いた範囲では、月曜・火曜・水曜というのが多かったようであります。また、時間は、午後7時～9時というのが一番多かった。それで、その時間帯のプログラムですが、毎週何曜日かに、団本部である、教会、又は学校にて、PM7:00～8:00までは班集会、PM8:00～9:00まで隊集会という形で、同時に班集会と隊集会を行なうケースが多かった。そして、班集会は班の部屋、又は班コーナーにて行なわれ、隊集会は大部屋にて行なわれ、この時に、上班、隊付、リーダー達が直接指導に当っているのです。また、たまには、土曜か日曜にハイキングに行くという隊もありましたが、この比率は半々ようですね。そしてまた、グリンバー会議はあってもグリンバー訓練というものがない隊が多いのです。これらには、班の主体制の軽視ばかりか、我々の現行の感覚から言わせれば、B.S.活動の基本となる野外活動をも疑いたくなります。このように、班制教育に大切なプロセスが軽視されている事を強く感じました。

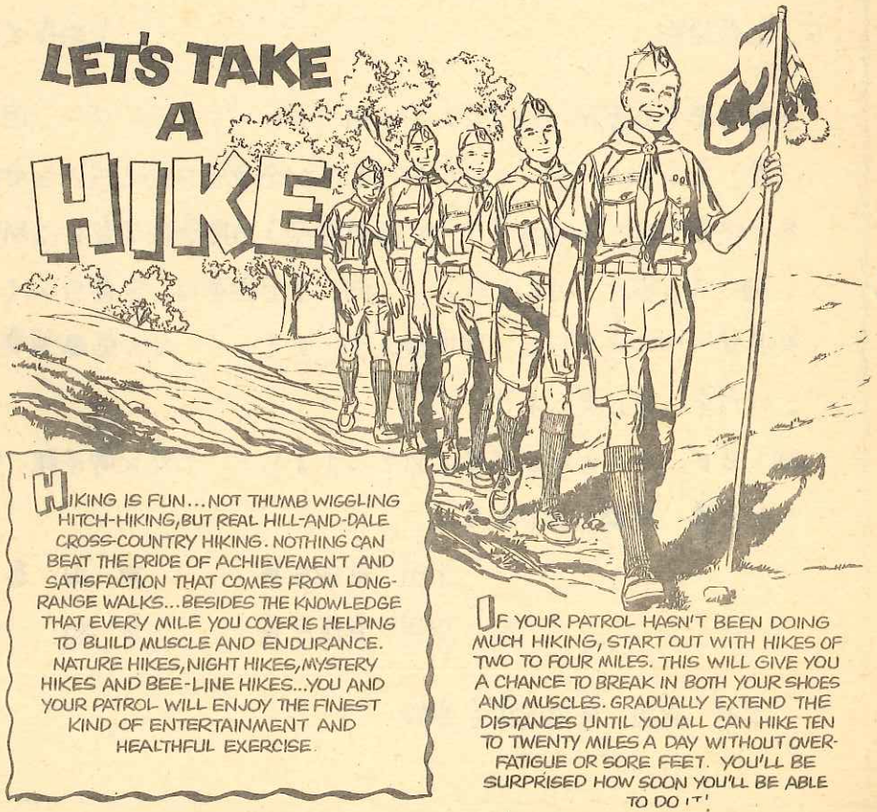


〈進歩制度について〉

Safe water is a MUST. Use only tested spring or purify with Halazone.

次に進歩制度について述べてみますと、日本のものと異なり、簡単にいえば、アメリカの進級制度は、技能章の取得数によって階級があるのです。例えば、初級になるにはSkill Award（技能章ほど内容豊富ではなく、その一部分を合格することに

"Squaw wood" is dead, dry branches still on the tree. You'll usually find enough to give you the fuel you need.

→よってもらえる、仮技能章といったもの）を2つと、1つの技能章が必要である（その外として、計画貯金、2ケ月の隊活動など少しある）。2級スカウトになるには、あと3つのSkill Awardとあと2つの技能章となる事ができるのである。という様に、日本の進級制度と異なる事を理解する必要があり、アメリカにおいては、進歩制度＝進級制度ということがほぼ言える。また、アメリカの技能章種目内容は日本のものと異なり、日本の進級課目項目の健康衛生、観察計画、通信、開拓、ハイキングといったものは、それらに関連ある技能章の中の項目に導入されているのである。ですから、隊内でのプロジェクトとすれば、技能章をいかに早く取得するかという事になるだろう。実際、私はある隊のB.S.集会を拝見することができなかったので、隊集会などでいかに進級課目が基本となったプロジェクトが行なわれているかは知ることができなかったので、大変残念であった。各々スカウトの技能章取得が、アメリカの夏季キャンプの目的の一つである。ですから、キャンプには、それぞれ専門に技能章考査員とその完璧な施設が準備されている。キャンプ中での技能章取得は私から言わせれば、スカウト達にとって、ごく簡単なものであります。

では、次回はキャンプ中での技能章取得についてから話したいと思います。